

市民公益活動とNPOセンター20年の歩み



10月9日(土)~13日(水)イオンモール石巻を会場に、いしのまきNPOセンター創立20周年記念事業『市民公益活動とNPOセンター20年の歩み』が開催されました。この催しは、これまで石巻の中間支援組織として活動してきたいしのまきNPOセンターが創立20年を迎えたことを記念し、これまで出会ってきた皆様への感謝の気持ちを込めて開催されました。

期間中は、常設でパネル展を行い、いしのまきNPOセンターの20年間の歴史がわかる活動写真や、これまで記録してきた数々の写真の展示、石巻市市民公益活動団体の皆様の活動紹介パネルの展示を実施。同時に、登録団体であるがんばろう！石巻の会さんによる「ど根性ひまわり笑顔の写真展」と、市民の皆様にご覧いただける「ど根性ひまわり」の種の配布も行われました。

10日(日)には、ステージ上で記念イベントも実施。

ご来賓の齋藤正美石巻市長の挨拶に始まり、パネルトーク『これまでの20年 これからの20年』では、市内で活躍しているNPO団体から4名の皆様にご登壇いただき、これまでの活動のことや今後の目標などをお話しいただきました。その後はシンガーソングライター幹mikiさんと少女合唱団Barcarolle サン・ファンの皆様による記念ライブがあり、たくさんの方々の市民の方々にご来場いただきました。

NPOセンター木村美保子代表理事は「皆さんとのご縁で、ここまで20年間やってこれた。震災という大きな出来事もあり自問自答したこともあったが、そんなとき全国の多くのボランティアの皆さんに来ていただいて、ボランティア団体、市民公益活動団体の必要性に気づくことができた。これからも各団体の皆様と手を携えながら、よりよい町となることを目指して、この地域の若者・子どもたちが夢をもってこの町に住み続けることができるよう、私たちもお手伝いをしていきたい。」とお話しされていました。

★10日(日)の記念イベントの様子は、下記YouTubeをご覧ください。

登録団体 取材報告

石巻アマチュアマジック協会 マジック勉強会

石巻アマチュアマジック協会(木村宏代表)は、地域住民の協働参加により石巻市内はもとより県内の福祉施設の慰問ボランティアを行っています。新型コロナウイルスにより残念ながら2021年は目標とする活動ができず、月二回、石巻市北村の遊楽館で勉強会を行っています。現在会員数は15名。

勉強会は毎回テーマを決めて会員のみなさんがそれぞれ道具を用い練習しています。緊急事態宣言が発令された8月、9月は勉強会も自粛、その期間以外は継続していました。以前は3か月に1回のペースでしたが、10月から毎回プロのマジシャンの講師にお越しいただきレクチャーを受けています。



今回は自分たちが持っているマジックネタで道具の使い方がわからないもの、またはギミックがわからないものなどを講師に聞き、手ほどきを受けることがテーマ。その他にもマジック道具の保管方法や、お客さんにどうやったらきれいに見せるかなどプロならではの目線でアドバイスを受けていました。

今後の活動について、今年は個人のマジックの種類を増やし、個々のマジックレベルを高めることを目標としているそうです。来年以降は病院や介護施設、地域のお祭りなど要請があれば是非披露したいと思っています、とお話しいただきました。

石巻市NPO支援オフィス

電話・FAX:0225-23-3641
メール:centerishinomaki@gmail.com



ホームページ



いしのまきNPOセンター
YouTubeチャンネル



ポツ

219号

2021年 11月

[発行元]

石巻市NPO支援オフィス
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63
TEL・FAX 0225-23-3641
MAIL: centerishinomaki@gmail.com
http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/
開館時間: 月~金 10:00~20:00
土曜日 10:00~18:00
休館日 日曜・祝日・第四木曜日

毎月25日発行

NPOや市民活動に役立つ情報をお届けします。みなさまからの情報提供もお待ちしております。



イベント情報

地域の助け合いによる送迎活動です
付添いボランティア・運転ボランティア募集

活動日: 随時 (日曜日以外)

福祉車両などを使用し、移動支援を行っています。通常の送迎運転ボランティアさんと、月1回のお出かけイベントがあり、付添いボランティアさんの募集をしています。地域で支えあう活動です。

付添い送迎イベントは月1回実施しております。送迎活動は8時から16時まで。ご都合に合わせて、週1回、月1回~でも可です。

○対象: 送迎運転ボランティアは要普通免許
付添いボランティアは免許不要

○問・申込み:
特定非営利活動法人 移動支援Rera
電話:0225-98-5667 (担当)植野



結城登英雄さんを招いての学習会
第9回・いしのまきリサイクリエーション研究会

開催日: 2021年12月15日(水)15:00~16:45

いしのまきリサイクリエーション研究会では「石巻のもう一つの宝を探す」を命題に学習を行い、その実践としてみやぎ県民文化祭への出展や、はまぐり堂をフィールドにした体験ツアーを実施しました。

この度はその成果発表と共に、提唱者である結城登英雄さんをお招きして、活動を検証する場を設けます。是非、皆さまもご参加下さい。

○場所: 石巻市かわまち交流センター1階・ホール
(石巻市中央2丁目11-17)
○料金: 無料
○対象者: どなたでも (定員25名)



○問・申込み:
いしのまきリサイクリエーション研究会
(事務局: 一般社団法人サステナブルデザイン工房)
090-6228-0535(担当: 押切珠喜)

☆12月14日(火)までお申し込みください。

助成金情報

COOPトリプルカード みやぎスマイル基金

宮城県内でさまざまな社会貢献活動を行っている組織と団体への助成をとおして、宮城県を「誰もが安心して暮らせる地域」にしていくことに寄与することを目的とします。

○助成の対象となる活動・団体:
・宮城県内で取り組まれる「営利を目的としない社会貢献活動」
・原則として1年以上活動している組織・団体。
・申請団体の法人格の有無は問いません。

※活動1年未満の団体であっても、申請書類一式を準備できる場合は応募することができます。

○募集期間: ~2022年1月31日(月)必着

○助成額: 原則、1団体30万円限度

○お問い合わせ先:
みやぎ生協 生活文化部 みやぎスマイル基金事務局
電話:022-218-3880 FAX:022-218-3663



一般社団法人 サステナブルデザイン工房

お話を伺った方

代表理事:押切珠喜さん スタッフ:長沼利枝さん 石山芽生さん

団体概要

「持続可能な社会」を実現することを目的とし、洗剤やシャンプーなどの使用済み詰め替えパックを回収して、ブロックに再生する活動を行っています。また、環境に関する各種セミナーやワークショップの開催、金華山の鹿の角をアクセサリに加工する体験ツアーなども行っています。



はじめたきっかけ

東日本大震災時、私が経営している山形県赤倉温泉の旅館には、たくさんの方々が避難されました。その数日後、皆さんから自宅に帰りたいとの要望を受けて、相乗りで石巻にきたことをきっかけに、そのまま復興支援ボランティア活動をするようになりました。

石巻では、沢田地区に拠点を設け、泥出しやがれき撤去、仮設住宅の見守り活動、半島部での漁具回収、金華山での参拝支援などを実施。ボランティア活動をしているうちに、だんだんと「復興というのはもとの社会に戻すことではなく、この先ずっと安心して過ごしていけるような持続可能な社会にしていくことが大事なのでは」と思うようになりました。

そこで2015年「持続可能なまちづくり」を目指し、サステナブルデザイン工房を設立しました。

主な活動内容

洗剤やシャンプー、リンスなどの詰め替え容器を従来のボトルからパックに変えることによって、容器に使っているプラスチックを80%削減することができました。

しかし今度は「パック自体がゴミになってしまう」という問題もでてきてしまったのです。

そこで私たちは大手洗剤メーカーと協働して、詰め替えパックをゴミではなく、新たな価値ある資源として再生するプロジェクト＝リサイクルーションを進めています。

石巻市全域の支所、総合支所、学校、公共施設など約50か所に回収ボックスを設置し、市民の方々から使用済み詰め替えパックを集め、集まったパックを「ブロック」に再生する活動です。

回収した詰め替えパックは一旦すべて集めて工場に送り、下記のような工程でブロックに生まれ変わります。

詰め替えパック以外のものを取り除く → 詰め替えパックを1センチ角に切る → 機械で綺麗に洗浄し、乾燥させる → 乾燥させたものを溶かす → 溶かしたものを一度ペレット状のかたまりにし、また溶かす → 溶かしたものをブロックの形の金型に入れる → ペレットがブロックの形になる。



そうして完成したブロックは、詰め替えパックを集めてくださった小学校や社会福祉協議会さんなどに「おかえりブロック」としてお渡しし、知育玩具として子どもたちに実際に見て触ってもらい、環境教育のために活用しています。

「ゴミ」と思えば「ゴミ」になるけれど、少し意識を変えて見ると「資源」に生まれ変わる。そのことを、子どもたちや保護者の皆さんにも知っていただきたいと思っています。



この活動を始めて感じる変化

これまで私たちは、詰め替えパックは“レジ袋に入れて”回収ボックスに入れてくださいとお願いしてきました。しかし、今年の7月レジ袋有料化からちょうど1年がたったことを機に、回収方法やスタイルも、世の中の流れに即して変えていく必要性をスタッフ間で感じはじめ、回収ボックスにそのまま入れてもらうスタイルでもOKにしました。

社会全体、地球全体が日々変化していくように、私たちも一緒に変化していく必要がある。「これを決まり」とするのではなく、世の中の動きにも常に敏感でありたいと思っています。



これからの目標

押切:当団体が事務局となり月一回開催している「いのまきりサイクリーション研究会」では、石巻の現状と未来を先人の知恵や文化的な風習、食べ物や、お祭りなどから学びなおし、それを具体的に暮らしに生かしていくことで『未来につなぐための「宝」』を再発見していく学習会や研究会を行っています。この活動を通じて、より持続可能な社会につなげていくために、日常的に暮らしに活かしていけるようにしていきたいと思っています。

長沼:詰め替えパック回収のために各地を回っていると、たくさんの人との出会いがあり、その出会いの中には様々なエピソードもあります。パックの回収を通じて地域でのつながりをつくり、いずれは誰もが自分事として考えて取り組んでいけるような社会の仕組みづくりをしていきたいと思っています。

石山:この活動に関わらせていただいて思うのは「私たちの生活は一人で作るものではなく、みんなで作るもの」ということ。この活動を通じて、地域のつながりは本当に大事だと感じているので、これからももっと人と人のつながりを増やしていきたいです。

使用済み詰め替えパックの回収について

～回収可能な容器～
洗濯洗剤、台所洗剤、シャンプーやリンス、化粧品などの「詰め替えパック」。

～不可能な容器～
お菓子の袋、ボトル・PET状の詰め替え容器、紙や金属容器など。

※回収ボックスに入れる際は、ご自宅でしっかりと中身を絞っていただくようお願いいたします。できれば、中に水をちょっと入れて、シャカシャカと洗って、水気を切って入れていただけるととても助かります。

回収BOX設置場所は
こちらから →



サステナブル
デザイン工房
ホームページ

一般社団法人
サステナブルデザイン工房

活動拠点:石巻市蛇田字上中塚95 C棟
メール:info@susdeko.main.jp